

質問事項	質問の要旨
<p>1 頻発する巨大地震と避難計画の問題点</p>	<p>2021年2月13日福島県沖で発生したM7.3の地震は宮城県内で最大震度6強という巨大地震でした。10年前を思い起し、不安を抱いた町民も多かったのではないのでしょうか。日本海溝の間近で巨大地震が頻発する日本列島で原発を運転するのは無謀としか思えません。また、避難計画の問題点についても伺います。</p> <p>(1) 今般の福島県沖地震による女川原発の不具合について、町にどのような報告がなされ、どう対処しましたか。</p> <p>(2) 内閣府等報告「原子力災害発生時の防護措置—放射線防護対策が講じられた施設等への屋内退避について（暫定版）」によれば、屋内退避では内部被ばくは防げないことが明らかになっています。屋内退避を基本とする避難計画は抜本的に見直すべきではありませんか。</p> <p>(3) あわせて内閣府等の報告に添付された「屋内退避が安全の第一歩」のパンフレットは、問題であり、至急回収すべきと思いますがいかがですか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>

質問事項	質問の要旨
<p>2 高齢者の難聴問題と補聴器等への町の補助制度を</p>	<p>高齢者の中には、難聴が原因で日常生活やコミュニケーションに困っている方が多いのではないのでしょうか。元気で暮らしていけるように、補聴器の購入費用の負担軽減を図る必要があると思います。</p> <p>(1) 町内高齢者の難聴の実態を報告してください。要介護認定の調査対象者の聴力項目を集計されていると思いますが、いかがですか。</p> <p>(2) 身体に障害のある方で補装具である補聴器の購入申請している人数は、本町で何人ですか。</p> <p>(3) 高齢者が安心して暮らせる社会をつくることは政治の重要な責任です。軽中度の難聴者にも補聴器購入費補助を検討されてはどうですか。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>
<p>3 地域おこし協力隊の活用を</p>	<p>本町においても、総務省が実施している地域おこし協力隊の活用を検討すべきと考えます。</p> <p>(1) 県内の活用状況、成果と問題は。</p> <p>(2) 若者の移住と地域の活性化は待ったなしです。特に地域の課題と向き合って活動する協力隊を本町こそ採用すべきでは。</p> <p>(質問の相手：町長・担当課長)</p>